

環境モニタリング結果報告書(平成18年11月分)

1. 空間線量当量率(敷地境界付近)

- (1) 測定日 平成18年11月1日～11月30日の毎週1回 計5回
 (2) 測定器 NaIシンチレーションサーベイメータ
 (3) 測定値(5回のうちの最大値を示します。)

測定場所	測定値 ($\mu\text{Sv/h}$)	測定場所	測定値 ($\mu\text{Sv/h}$)
イ	0.06	ハ	0.07
ロ	0.06	ニ	0.06

(4) 結果

いずれもバックグラウンド並であり周辺環境への影響はありません。

2. 空気中の放射性物質濃度(敷地境界付近)

- (1) 測定日 平成18年11月1日～11月30日の毎週1回 計5回
 (2) 測定方法 ろ過捕集方式、自動計数装置
 (3) 測定値(5回のうちの最大値を示します。)

測定場所	測定値 (Bq/cm^3)		測定場所	測定値 (Bq/cm^3)	
	α	β		α	β
a	ND	ND	c	ND	ND
b	ND	ND	d	ND	ND

注) NDは検出限界濃度以下であることを示し、検出限界濃度は α : $3.380 \times 10^{-10} \text{ Bq/cm}^3$ 、 β : $1.51 \times 10^{-9} \text{ Bq/cm}^3$ です。

(4) 結果

いずれも検出限界濃度以下であり周辺環境への影響はありません。

3. 地下水中のウラン、トリウム濃度

- (1) 試料採取日 平成18年11月10日
 (2) 分析方法 ICP-MS
 (3) 分析値

採取場所	分析値 (ppb)		採取場所	分析値 (ppb)	
	ウラン	トリウム		ウラン	トリウム
1	<0.1	<0.01	6	<0.1	<0.01
2	<0.1	<0.01	7	<0.1	<0.01
3	<0.1	<0.01	8	<0.1	<0.01

4	<0.1	<0.01	9	<0.1	<0.01
5	<0.1	<0.01	10	<0.1	<0.01

(4) 結果

ウラン濃度はいずれもわが国の河川中のウラン含有量（0.34～1.23ppb）を下回っており、トリウム濃度はいずれもわが国の河川中のトリウム含有量（0.0087～0.048ppb）の変動の範囲内であり、周辺環境への影響はありません。

備考：測定位置及び採取位置については[付図](#)を参照願います。

以上